

## 令和元年度研修会開催報告

日時：2019年5月23日（木）～24日（金）

場所：岡山県岡山市 大建工業岡山工場 他／岡山県倉敷市

参加人数：16社、24名

今年の研修会は一泊二日で、1日目は岡山県岡山市にある大建工業株式会社岡山工場・R&Dセンターを見学させていただきました。2日目は岡山市にある吉備津神社、昨年大雨で被災した倉敷市真備地区の復興状況、遣唐使・吉備真備の資料を収集した倉敷市まきび公園・まきび記念館の視察を行いました。

### <1日目>

#### ◎大建工業岡山工場

##### 1) 工場概要

岡山工場はJR岡山駅から南へ車で約30分、児島湾に面した海岸通にあり、敷地面積は253千㎡（7万7千坪）、東京ドーム5.5個分の広さがあります。昭和33年2月に竣工し、今年で61年目を迎える工場で、大建工業の中では創業の地、富山県南砺市にある井波工場、名古屋工場に次ぐ3番目の工場だそうです。岡山工場の従業員は系列会社、協力業者を含めて約400人。月曜から金曜まで3交代制で24時間フル稼働しています。大建工業は「戦後復興に役立つ」を理念に、昭和20年の操業当初から合板事業を行ってきました。岡山工場では端材や廃材の木材チップをパルプ状にして、木質繊維を板状に抄き上げて造る「繊維材」に着目し、操業以来61年間繊維板（インシュレーションボード）を作り続けてきたそうです。



##### 2) R&Dセンター

R&Dセンターは研究開発部門で、製造部門と連携し「技術のDAIKEN」の基盤を支えています。昨年の10月にオープンしたばかりの真新しい建物を見学させていただきました。R&Dセンターの1階は大型の試作機器がある試作実験エリアで、そこで作った試作品を2階にある測定・分析エリアにて測定分析しています。また化学的な研究、植物の栽培実験も同時に行える施設も併設されています。3階は展示エリアとなっており、製品技術展示エリア「岡山テクニカルスペース」と研究開発展示エリア「R&Dスペースミライ」があります。R&Dセンターは研究者の働き方改革を目指して建てられており、オープンイノベーションを推進していきたいとの思いから、明るくて開放的なオフィスになっています。社内外の人たちとのコミュニケーションが取れるよう、交流スポットが階段の途中など各所に設けられていました。



### <2日目>

#### ◎吉備津神社

吉備津神社は、古来より、吉備国開拓の大祖神として尊崇されている大吉備津彦大神を祀る山陽道屈指の大社です。全国で唯一の様式である「吉備津造（比翼入母屋造）」の本殿と拝殿が国宝に指定されています。境内には全長398mに及ぶ美しい回廊や、釜の鳴る音で吉凶を占う鳴釜の神事が行わ



れている御釜殿などがあります。また、桃太郎伝説のモデルとしても有名です。

#### ◎倉敷市真備地区

真備町は平成 30 年 7 月に発生した西日本豪雨により大きな被害を受けました。ボランティアガイドの方の案内の下、真備町地区の被災現場を視察しました。初めに高梁川の支流・小田川が決壊した場所を案内いただきました。水の溜まりやすいところでは浸水の深さが 5m30cm くらいまで達し、ガイドの方の自宅も水没して

現在まだ工事中とのことでした。夜中の 2 時頃に避難し、ご家族も車も無事でしたが、もし自宅に残っていたら命が危なかったそうです。小田川の支流・末政川が決壊した場所も案内いただきました。末政川周辺は亡くなった方も多く、被害が甚大な場所でした。小田川や末政川の決壊については、雨が例年になくたくさん降ったため、高梁川の上流にあるあちこちのダムが放流したことにより、本流の高梁川が増水したことなどの要因もあるようです。ガイドの方より生のお話を伺い、また被害にあった様子を目の当たりにし、改めて自然災害の恐ろしさを実感しました。まだ建築中の建物や工事中の場所も多数目にし、皆様が一日も早く生活の再建をされることを祈るばかりです。



#### ◎まきび公園・まきび記念館

まきび公園は、昭和 61 年春、中国西安市に吉備真備の記念碑が建立されたのを記念して、また郷土の偉人を顕彰し後世に伝えるため、その年の秋に開園しました。

まきび記念館は吉備真備の偉大な功績をたたえ後世まで伝えるため、資料などを収集し展示するとともに、地域の文化拠点ともなるべく、まきび公園内に昭和 63 年に開館した記念館です。吉備真備は、奈良時代に若くして遣唐留学生に選ばれ、阿倍仲麻呂らとともに唐の都長安に赴きました。19 年の間、儒学・歴史学・政治学・

経済学・法律学・数学・天文学・暦学・兵学・音楽など多方面にわたって学んだことを日本に持ち帰って広めました。また、真備はカタカナを発明したり囲碁を伝えたとも言われています。その後、遣唐副使として再度中国へ渡り、日本に初めて律宗を伝えた鑑真和上らとともに帰国しました。二度も中国に渡り、日本の諸制度や文化の繁栄に貢献した吉備真備の偉大さについて学ぶことができました。

最後は倉敷美観地区を見学して、全ての行程を終えました。今回の研修会は天候にも恵まれ、大建工業様では普段なかなか見ることのできない製造過程や製品を見学させていただき、中国と関わりの深い真備町を訪れて西日本豪雨被災地の復興状況を見ることができ、大変充実した研修会でした。



研修会の内容は、会報誌「日中建協 NEWS」240 号（2019 年 7・8 月号）に詳しく掲載していますのでご覧ください。